



安道よし子の一般質問

C2配備で基地強化・危険に!

防衛省はYS-11機の後継として、入間基地にC-2輸送機を転用した「電波情報測定機」の配備を公表。平成30年3月から約1年間、記録分析を行う機材を搭載し試験飛行と電波情報測定器装置の試験評価を実施することのこと。

市民に知らされないまま基地内では、C-2配備に向けた工事が着々と進められています。(燃料関係施設等工事中)更に、C-2格納庫も建設予定。

基地が海外派遣の拠点に

運用から40年以上経過しているC-1輸送機の後継として、いずれC-2輸送機が入間基地に配備される計画です。

国内輸送のC-1に比べC-2は中東まで飛べます。「戦争法」の下で米国から後方支援の要請があれば、入間基地が海外展開の基地となる恐れがあります。

短い滑走路でC-2は大丈夫?

C-2試験飛行の岐阜基地(2700m)や美保基地(2500m)に比べ、入間基地の滑走路は2000mとC-2には短い。

「滑走路が短い離着陸時の安全は大丈夫か」と質すと、市長は「滑走路の長さは把握していない。安全面は調査する」と答弁。私が「C-2配備は危険。拒否すべき」と訴えると、市長は「国防のために必要」と主張。自治体の長として市民を守る姿勢を貫くべきです。

自衛隊輸送機C1とC2の比較

	C1	C2
幅	約31m	約44m
長さ	約29m	約44m
高さ	約10m	約14m
基本離陸重量	約39t	約120t
最大積載量	約8t	約30t
航続距離	1700km	6500km

*C-2はC-1より機能が大幅にアップ

航空機騒音の測定器設置へ

市長が「航空機騒音は入間で測定する必要がある」と答弁

C-2配備や基地跡地問題などで、航空機騒音の拡大が懸念されます。地域からは、「ここ数年騒音が悪化して、何だか不安」との声。

私は、航空機騒音の実態把握を求めました。市長は、「国に測定を要望している」との答弁に終始。「入間市が実態を把握して、国に対策を求める事が重要」と質すと、市長は「入間市で測定する必要がある」と答弁。市民生活の安全・安心を守ることは、最優先されるべきことです。(監視行動に参加)



いつもはつらつ

安道よし子の

No. 40
2016年 冬号

市議会通信



日本共産党市議会議員

「戦争法」廃止で明るい未来へ

新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

私は、今年も宣伝カーで新年のあいさつに地域を駆けめぐっています。「戦争法」廃止の2000万署名に取り組んでいます。明るい未来のために、平和憲法を守り抜く運動を大きく広げられるよう頑張ります。「基地のまち」入間から平和を広げるためにみなさんと力を合わせて頑張ります。今年もよろしくお願い致します。



戦争法と一帯の「拡張・強化」を市民は望まない

「緩衝緑地帯、守って」8600筆の願い届かず

「ストップ入間基地拡張!市民の会」が入間基地拡張となる災害対処拠点施設と自衛隊病院設置に反対し、平成20年の計画実現を求める請願を12月市議会に提出。田中市長が市民や議会を無視して防衛省に「受け入れ」表明したことに抗



議し、撤回を求めるもの。請願は12月11日、基地対策特別委員会で審議。私は、基地対策特別委員会の委員として、賛成の立場から質疑と討論を行いました。他党派の反対多数で、請願は不採択に。議会のチェック機能を果たせなかったことは残念でなりません。

みなさんの声をとどけて働きます

安道よし子の連絡先 電話04(2962)8082 携帯090(4811)0553

8600筆の市民の願い届かず

第4回定例議会

「基地拡張反対」請願を議会が否決

12月議会に「ストップ入間基地拡張！市民の会」から提出された「入間基地拡張となる『災害対処拠点施設及び自衛隊病院設置』に反対し平成20年計画実現を求める請願」が、共産党市議団以外の反対で否決されました。

市長が勝手に「受け入れ」表明

請願は、田中市長が防衛省の要請に対して、市民への説明も市議会の議論も無いまま、「受け入れ」表明したことに抗議した。7977筆の署名はその後も次々に届き8600筆を超えています。

戦争法の具体化となる基地拡張

11日、30名を超える傍聴者が見つめるなか市議会基地対策特別委員会で審議。

「市民の会」代表の小川満世氏が趣旨説明を行い、防衛省の「入間基地拡張、自衛隊病院建設」計画は、戦争法の具体化「戦争できる国」の準備そのものであり、市民は断固拒否すると主張しました。

さらに、市長の決定は住民無視、議会軽視で、憲法92条の地方自治の原則に反すると厳しく批判。緩衝緑地帯である市街地の貴重な緑が伐採されれば、東町小・

中学校や地域住民への影響は甚大。市民生活を守るためにも緑地は保全すべきと訴え、平成20年の計画実現への努力を市長と行政に求めました。

紹介議員の小出亘市議が防衛省の計画と20年の計画に何ら整合性はないとして、請願を尊重し採択をと訴えました。

市は20年計画実現へ努力せず

審議のなかで、入間市は平成20年の計画策定後、用地取得に向け財務省と一度も協議していないことが明らかに。

安道佳子市議が賛成討論を行い「市長の受け入れ理由は、市民を欺くもので、戦

争するための基地拡張は断じて受け入れられない。請願に込められた市民の願いを受け止めるべき」と強調しました。

議会最終日の本会議において、共産党以外の会派は、市の計画と防衛省の計画は整合性があると主張。請願に込められた市民の平和の願いは受け入れられることなく、請願は不採択となりました。



邦人輸送訓練に抗議する市民

国保税改定・図書館分館指定管理に反対

共産党は17議案のうち2議案に反対しましたが全て賛成多数で可決されました。

国民健康保険税条例の改定は、国保税の限度額を現行の81万円から85万円に引き上げるものです。入間市では昨年からの国保税増税が行われたばかり。国保は社会保障です。自治体は住民の健康と医療を守るという本来の役割を果たすべきです。



図書館3分館(西武・金子・藤沢)の指定管理者を民間企業に指定する議案が提出。今回の指定管理者制度導入にあたり入間市図書館協議会に諮問さえしておらず、市が強引に推し進めていることは大問題です。倒産などの恐れのある民間業者が管理・運営する指定管理者は安定的、継続的なサービスを提供することは困難です。市民の生涯学習を保障する社会教育施設は、市が直営で運営すべきです。

学校統廃合を提案

市主催の「入間市公共施設マネジメントシンポジウム」で「最適化方針」と称して学校を統廃合し、図書館・市役所支所・保育所・学童保育などを学校に移設する方針が説明されました。小学校16校、中学校11校をそれぞれ9校に統廃合し、地域の公共施設と複合化させていくものです。

どの学校を対象にするかは不明で、29年度から開始、10年間の計画です。人口減少を理由にしているが、人口減少をくい止める観点は全くありません。財政削減ありきで進める学校統廃合は、子ども達に大きな負担を課し、地域を衰退させます。

共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員 不安負担増大のマイナンバー制度
- 吉沢かつら議員 子どもの権利を守る施策の充実を
- 小出わたる議員 学童保育室の改善・西武地域歩道
- 安道よし子議員 入間基地へのC2配備で基地強化

日本共産党市議会報告

2016年1月 発行/日本共産党入間市議団 連絡先/電話・Fax2932-2840

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883